



dataTAMA

データ多摩 ● vol.17-a

多摩地域における軍施設・工場の進出と住宅地造成事業の状況 (1920~40年代)

出典:『多摩広域行政史一連携・合併の系譜一』(財団法人東京市町村自治調査会、2002年)より作成

1935(昭和10)年の段階で、多摩地域で市制町制を施行していたのは、八王子市など1市11町\*ですが、この図からは、立川とその周辺町村への軍施設の進出と、北多摩の田無・武蔵野・三鷹・調布・府中や、南多摩の日野への軍需工場の進出が目立っています。こうした諸施設が進出した地域では、そこで働く従業員の住宅建設などで人口が急増しました。そして、1940(昭和15)年12月に立川が多摩地域で2番目となる市制を施行します。そして、諸施設が進出した村々でも町制施行が相次ぎ、数多くの合併構想が持ち上がりました。

\*八王子市、田無町、調布町、青梅町、五日市町、府中町、日野町、町田町、立川町、浅川町、武蔵野町、小宮町。(上地図の多摩地域の市町村は2013年現在)